

岩崎 萌森 個展

IWASAKI Memori solo exhibition



www.kunstarzt.com

織 編 結 反と角

weave knit tie cloth and corner

KUNST ARZT では、岩崎萌森個展「織 編 結 反と角」を開催します。岩崎萌森は、独自の感性で、衣の本質を探究するテキスタイル/インスタレーションアーティストです。

2019年から開始した「織 編 結」シリーズでは、縫製や型紙は一切使用せず、「織ること」「編むこと」「結ぶこと」のみで構成するという制限を課しているとは思えないほど、美しく豊かな表情を持つ作品群を制作し、展覧会やファッションショーで発表してきました。特に、滲み出てくる原始的な魅力、力強さは特筆すべきものがあります。

本展は、作家自身が制作した六角形枠機を用いた作品群での構成です。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



「織 編 結 原初の衣」2019

展覧会内容

「織 編 結 反と角」では、自身で制作した六角形枠機を用いた作品を展示する。

自ら枠機を制作し、それを元に作品を形作ることで、既製品の織機よりも作業効率は下がるものの、独自のルールのもと、自由な使用方法、表現技法を生み出すことができるようになる。本展覧会に向けて制作している六角形枠機は、一般的な織り機と違い縦糸と横糸に加えて新たに斜めの糸を追加することができるようになっており、より表現の幅を広げることができる。

六角形枠機の特性を生かし、衣服のパーツを織り上げ、組み上げて服飾作品として展示する他、枠機に取り付けられた制作途中の衣服のパーツを同じ空間に展示することで、織物と衣服を往復しながら作品を鑑賞できるようにし、単純な構造の積み重なりで起こる複雑な美しさを鑑賞者に見せる意図をもって展示空間を構成する。

略歴

1999年 愛知県生まれ

2021年 成安造形大学芸術学部芸術学科空間デザイン領域コスチュームデザインコース 卒業

主な展覧会

2019年 「NIF YOUNG・TEXTILE展」東京国際展示場 JAPANTEX 内 (東京)

2020年 「世界で一枚のシャツ展」ギャラリーサラ (滋賀)

2020年 「岩崎萌森個展 織 編 結 制限と可能性」ArtSpotKorin (京都)

2021年 「成安造形大学卒業制作展」京都市京セラ美術館 (京都)

2021年 「SELECTION 卒業制作展 2021」成安造形大学ライトギャラリー (滋賀)

2021年8月31日(火) から9月5日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティストステートメント

一つ一つの単純な構造が次々と繋がっていき、連続することで生まれる形に私は美しさを感じる。2019年から取り組んでいる、「織 編 結」シリーズでは、技法そのものが持つ、連続する美しさに焦点をあて、その構造的な魅力を際立たせた服飾・染織作品を制作している。

展覧会コンセプト

織ること、編むこと、結ぶこと
単純な動きの連続で、ひたすら手作業によって形作られていくものに美しさを感じる。自ら簡易型織り機を作成するところから始め、その技法一つ一つと手作業で真摯に向き合うことで、それらの美しい構造が少しずつ見えてくる。本展覧会では、自作した織機と完成した服飾作品を往復しながら鑑賞できる空間を構成し、単純な構造の積み重なりで起こる複雑な美しさを探求したい。



「織 編 結 原初の衣」細部
2019/麻糸・ポリエステル/150cm×200cm

四角形の布に切れ込みを入れ、展開することで衣服のような形を生み出した。織ること、編むこと、結ぶことの積み重なりで、どこか原始的な力強さを感じることができる。



「織 編 結 人々と布の交わりについて」
2021/麻糸・ポリエステル

平面の布から衣服が立ち上がる様を表現した服飾作品。縫製や型紙は一切使用せず、織ること編むこと結ぶことのみで構成されている。



「織 編 結 制限と可能性」
2020/麻糸・ポリエステル
33cm×33cm(15点)

感染症の流行により、制作活動をはじめとして様々な制限がかけられる環境下で制作を続けるために、身の回りにあるものを使用して作った自作の織り機を使って15点の作品を制作。制限される中であるからこそ新たな可能性を見出すことができないかと挑戦した作品。